

---

O L I S 琉球大学保険フォーラム  
＜デジタル社会が保険ビジネスを変える＞

～デジタル社会が求める人材と人間力（所感）～

琉球大学 客員教授 宮家 吉弘



～デジタル社会とは～

# ～デジタル社会とは～

＜野村 典文 博士 (数理情報学) 2018.8＞

- デジタル社会について、人によって捉え方は異なるものの、大まかに言えば、リアルな「モノ」や「サービス」を「デジタル化 (非物質化)」することで、新しい事業価値が生まれ、文化、産業、人間のライフスタイルを一変させていく社会と定義することができる。
- デジタル化の本質はデータです。データを活用する仕組み (収集、分析、活用) が根底にあり、特に膨大なビッグデータを解析する**データサイエンスが最も重要**と言えます

# デジタル社会が求める人材とは、 膨大なビッグデータを解析する「データサイエンス\*<sub>1</sub>力」 を持つ人間であると言える

\*<sub>1</sub> データを用いて新たな科学的及び社会に有益な知見を引き出そうとするアプローチのことであり、その中でデータを扱う手法である情報科学、統計学、アルゴリズム等を横断的に扱う。データサイエンスを、統計的、計算的、**人間的視点**から俯瞰することができよう。(ウィキペディア)

これは、その解析結果が、一般的・合理的な解析内容であり、導き出される次の改善行動内容を含めて、万民にとって分かりやすい、**万民に受け容れられるものであることが求められる。**

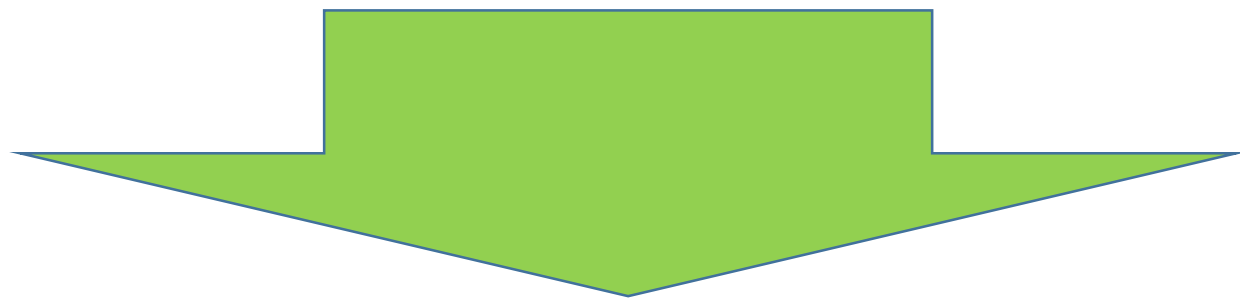


万民とは全ての国民。学識・理解力・経済力の高低に関わりなく全ての国民。



デジタル社会が求める人材とは、科学的・合理的思考に基づく「データサイエンス力」と併せて、**他者（万民）の気持ち（喜び・苦しみ）を理解でき、他者の役に立つ的確な表現で次代を切り拓ける高次の「人間力」が求められる。**

# 他者（万民）の気持ちを理解する



## 全ての悩みは 人間関係の悩みである

<アルフレッド・アドラー（心理学者）1870-1937>

人生における  
最大のリスクは  
人間関係である

# 人生における最大のリスクは 人間関係である



- ただし、人生における最大の**資産**もまた人間関係である。 **(ポジティブシンキング)**
- 豊かな人間関係は、物心両面で幸せな暮らしに結び付きやすい。

**人生の値打ちは「ありがとう」の回数で決まる。**

**人生のリスク・コントロールは、  
対人関係能力に左右される。**



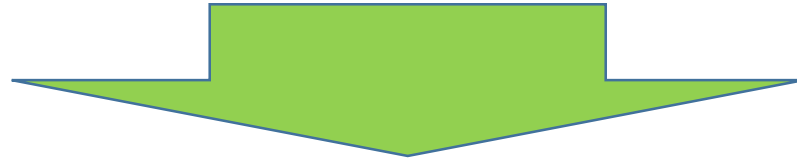
# 人生のリスク・コントロールは、 対人関係能力に左右される。



- 対人関係能力とは、  
他者に自分を受け容れさせる努力である。
- しかしそれは  
自分が他者を受け容れる努力でもある。

**社会人に求められる  
普遍的能力**

# 社会人に求められる 普遍的な能力



- 今日的リテラシーは我々にとって不可欠なものだが、それにも増して重要なものは「**人間力**」である。
- 「**人間力**」とは**知恵と勇気と元気の総和**。  
強くなければ生きられない、優しくなければ生きる  
値打ちがない を実践する力である。

**何にでも突っ張るな。**

**独力で解決しようとするな。**

**逃げる勇気を持て。**

**何にでも突っ張るな。  
独力で解決しようとするな。  
逃げる勇気を持て。**



- 局面から逃げないことは極めて大事だが、人生には迂回や撤退が必要な時がある。
- 知恵を絞っても乗り越えようのない壁、そこで苦悶しつづける必要はない。危機的状态に陥る前に迂回や撤退を決断する。これもまた大きな知恵と勇気である。

人々から学びとる

# 人々から学びとる



- **すべてを自分が体験することはできない。  
他人の知恵や勇気に学ぶことは数多い。  
学ばない人には知恵の成長もない。**
- **良きにつけ悪しきにつけ他人に学ぶ態度が必要である。  
手本とすべき知人友人は多くいるし、  
また真似てはいけない見本も身近にいる。  
そこから学びとることが知恵を育む  
「人のふり見て我がふり直す」**

# 人々から学びとる



- 人生では、自分の知恵と勇気だけでは足りない場面に必ず遭遇する。むしろ、自分一人で対処できる問題は限られている。
- 知人や友人との良い人間関係が自分に足りない知恵と勇気を補ってくれる。「人に勝る神仏はなし」
- 人間関係は人生の基盤であり、知恵と勇気の源でもある。よりよい人間関係を築くうえで大切なことは、他人を思いやる心である。他人の嫌がることはしない。自分がしてほしいことを他人に施す。



嫉妬心に  
とらわれなれないこと

# 嫉妬心にとらわれないこと



- それは人間関係を損なう惨めな心理現象である。  
人との比較に身を焦がすより、  
自己新記録づくりに挑むほうが一層生産的である。
- 人の成績や容姿には優劣もあり、人生には運不運もある。  
自分の努力を超える物事は、  
すっきり割り切る「諦め」が要る。

琉球新報 2011年1月29日

「自分の可能性を試してみたい」等々、一生懸命自身を売りこみます。面接する立場であった私から言わせていただきますと、誰かに教えてもらった教材のキーワードをそのまま暗記して使っているように感じます。実にもったいない限りです。就活で汗をかいていながら、よかったですら自



宮家 吉弘

県生命保険協会事務局長

たった一言。おれと」言。それは「あいさつ」です。朝起きたら一言、会社や学校で仲間と会ったら一言、お客さまと会ったら一言等々、あなたはどんな一言であいさつをしていますか？

私の心の中の「人生の辞典」には「あいさつとは心を開く」と記されています。不景気と言われている中で、就職活動をされている学生さん、もしよかったら参考に見てみてください。

面接の時、学生さんはすべてと言っているけれど、面接者の求めに応じ自己紹介の後、自分の夢を語りま

### あいさつは心を開く

## 南風

分の個性をアピールしてみてください。自分自身の言葉で表現してください。面接者の目をしっかり見て、明るい笑顔で元気に伝えてください。失敗するとか、恥をかくとか、ネガティブに取らずプラス思考でチャレンジしてみてください。ほとんどの会社が、そんな自分らしさのある人材を求めていると思いますよ。

就職して実社会に入るとあなたの存在が全く違ってきます。学生のころはお金を払って学校に行ったが、就職したらお金をもらって会社へ行く。我慢したり、ピジネスマナーを理解したりするのはひと苦労します。自由が無いという期間もあるかもしれない。そんな時、プラス思考に考えて、これは自分の糧になると思い込むことです。社会生活は対人対応力がポイントです。

私はあなたに興味がありますというスタンスで、生きてみてくださいね。「あいさつは心を開く」の言葉を信じ明るく元気です。



琉球新報 2011年3月12日

大相撲の世界では、「心・技・体」と表現される横綱の品格が問われたりします。本来なら明日から大相撲の春場所がスタートする予定でしたが、中止されることになりました。昨年の横綱の暴行事件、野球賭博事件、そして、今年もまた八百長疑惑問題等々、相撲界自体の品格を問われることが世の中を騒がせています。

ルールを逸脱して成し得た結果を他人(ヒト)は、いや世間は成果と言わない時代であることをおののが自覚することが肝要です。実はこのルールを分かりやすく伝播しているスポーツが、大相撲だと思えます。体格の区別なく土俵の外に出すか、土俵上に転がすか。見ている分かります。決まり手です。白熱した相撲内容や小さい力士が大きな力士を投げたりする場面を見るとまさに手に汗握るという表現がぴったりです。勝った力士、負け力士、それぞれに拍手喝采。この拍手は一生懸命頑張ったから



宮家 吉弘  
みやけ よしひろ

県生命保険協会事務局長

## 南風

負けなければいいんだよ…

こそいただけるものです。とりわけ「土俵際」という言葉は、人生を振り返ったり、直面していることに対するスタンス等々、人生の節目でよく使われたりしています。いわゆる人生の土俵際をどう乗り越えるのかが重要な視点ですが、でもその後の態度がもっと大切。長く生きていくと、濃淡はあれどもまういかなことばかりのような気がします。だから行為の動機のみを重んじ、帰着する結果は問わないこと。失敗してもいいんですよ、でも失敗したのには、必ずそれなりの理由があります。上司が悪い、会社が悪い、親が悪い、友達が悪い、さらには世の中が悪い等々、他人のせいにしてはダメなのです。自ら、頭の中を冷静に整理して、一度でダメなら二度というように、何度も挑戦する勇気を持って取り組むことが大切です。

人生、他人に勝たなくてもいいんですよ。自分の心の弱さに負けなければ…。

～デジタル社会が求める人材と人間力～



まくとうそーけー  
なんくるないさー